

北見武道通信

令和 7 年 10 月 16 日 00765 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】 北見合気武道会が大東流合気武道初心者教室を開催

10 月 12 日(日)北見市武道館「道場 1」で「令和 7 年度大東流合気武道初心者教室」が開催されました。主催北見合気武道会(伊藤隆史代表)は大東流合気武道の普及振興に尽力しています。この日も伊藤代表を中心に札幌や旭川から指導者(今野浩明・松岡弘毅・北川さやか・川口貢)を招き午前 10 時から午後 4 時まで熱心に研修が行われました。この大東流合気武道初心者教室は北見合気武道会が北見市武道館(特定非営利活動法人北見市武道振興協会)と共に毎年開催しています。〈佐藤〉



サナギ (短編小説) 最終回

次の日、男はまた窓を開けた。中身のないサナギは、昨日と同じように窓のサッシにあった。男はそれを少し眺めたあと、丁寧な手つきでそれを取りのぞき、家の中に入れた。

用意した箱の中に入ったサナギは、まるでそこにあることが当たり前であるかのように、すっぽりと納まった。男はそれを日がな眺めるのだった。

サナギは彼の中で様々な形に変化をした。ある時は美しい蝶に、ある時は見たこともないような生き物になって、男の頭の中で冒険を繰り広げた。そしてそれは尽きることがなかった。

男はサナギを入れた箱を、外出するときには持ち歩くようになった。外には以前と変わることのない景色が広がっている。しかし男にとって、それはもはや、ありきたりな一風景ではなかった。

そこには箱に入ったサナギがある。そうしてどこかには、殻を抜け出したサナギの主がいる。

そう考えるだけで、男は興味を持って物事を見るようになった。

まだ見ぬサナギの主への空想は、いつまでも男の心をつかんで離さなかった。終 〈ゆいか〉

連載「武道宝鑑」第2弾 磯貝 一 <柔道指導の心得>五、指導上の外的条件 ○設備 1

柔道の技術の修行は普通の座敷でも出来ぬことはないが、道場で行うことを最も良しとする。而してその道場の設備としては、先ず適當の広さを要する。いうまでのなく修行上には十分の広さがあれば申し分ないけれども、必ずしも十分な広さを要求しない。要は修行者各々が適當の回数だけ練習が出来るような広さを備えていればよろしい。併しあまりに狭い道場に於いては、技の練習する範囲も自ら制限される事がある。即ち捨身技のように広い場所を要する技の練習が出来ないなどのこともある。然しまた一面には、狭い道場に於いては、すばしく技をかける習慣が自然に出来上がるというようなこともあり得る。 つづく